

Gap Animal Zoo



法政大学 人間環境学部 人間環境学科
高田A3ゼミ 生物班

GAP Animal Zoo 案内

GAP Animal Zooについて…

可愛いけど実は性格が悪い、おっとりしてそうだけど実は凶暴な性格等のイメージと実際のギャップがある動物がいる動物園です。知らないかった動物のギャップに触れることでもっと動物が好きになるかも？

エリア紹介

1. 絶滅エリア

実は絶滅危惧種や既に絶滅した動物にも多くのギャップがあります。ぜひギャップを知ることで理解を深め、未来に繋げましょう！

2. 人と生活の関わりエリア

私たちにとって身近な動物たちにも知られていないギャップは意外とたくさんあります。そんなギャップを知ることでさらに好きになるかも…？

3. 未来エリア

「将来こんな動物がいるのかもしれない？」そんな動物たちを私たちで考えました。面白いギャップもあるのでお楽しみに…！

4. 文化と動物エリア

誰もが知っている昔話や民話。神話に出てくるあの動物、実はそれらの動物にもみんなに知られていない意外なギャップがあるんです！

Zoo Map

絶滅・絶滅危惧種
エリア

人と生活の関わ
りエリア

文化と動物
のエリア

未来エリア



絶滅・絶滅危惧種エリア

動物園でよく見かける生き物が実は絶滅危惧種であったり、すでに絶滅した生物も多い
絶滅を食い止めるために私たちに何ができるのだろうか…？



【マレーバク】 絶滅危惧種(EN)

名前: マレーバク
種類: 哺乳綱ウマ目バク科

生息地: インドネシア、タイ、マレーシア、ミャンマー
ギャップ: 赤ちゃんの時の色やデザインが大人と違う。泳ぎが得意。

<https://x.gd/EGkhU>



【フンボルトペンギン】 危急種(VU) 絶滅のおそれが高い

名前: フンボルトペンギン

種類: 鳥綱ペンギン目ペンギン科

生息地: チリ、ペルー

ギャップ: 繩張り意識があり、気が強い。水族館32か所で見られるメジャーなペンギンだけど絶滅危惧種指定



【フクロオオカミ】 絶滅(EX)

名前: フクロオオカミ
種類: 哺乳綱ダシウルス形目フクロオオカミ科
生息地: オーストラリア
ギャップ: カンガルーと同じ有袋類で背中の半分にヨコシマの模様がある



【シロテテナガザル】 絶滅危惧種(EN)

名前: シロテテナガザル

種類: 哺乳綱サル目テナガザル科

生息地: 中国南西部、東南アジア(インドネシア、カンボジア、タイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー東部)

ギャップ: ベビーフェイスだけど動きは俊敏

<https://x.gd/zMljk>

人と生活の関わりエリア

人々の生活に身近な存在であるニホンジカ、ハクビシン、ムクドリは生態系や分化の一部としての価値を持っている。これらの動物との関わりを整理することは、人と自然のよりよい関係を築くために重要。

【ムクドリ】

【生態】

黒褐色の体とオレンジ色の鋭い嘴。
顔には白い羽毛が不規則。オスの方が黒みが強い。
椋の木の実を好んで食べることから、ムクドリと呼ばれるようになった。

ヨーロッパなどの環境には存在せず平地の農耕地から市街地まで広く分布し、日本の駅前などに大群でよく見かける。夕方になると大群になって集まり、集団ねぐらへと移動する。都市部の街路樹がねぐらとして利用されることもあり、近年騒音や糞による汚染が問題になっている。

ギャップ！

今は害鳥とされているが、
昔は害虫を食べる
益鳥として重宝されていた



https://www.birdfan.net/spodiopsar_cineraceus/

【ニホンジカ】

【生態】

ニホンジカは日本全土に分布する草食性の哺乳類で、森林や山間部を中心に生息している。
主に草や木の葉、果実、樹皮などを食べ、季節によって食性を変えながら生活する。
群れで生活することが多く、昼夜を問わず活動する。

ギャップ！

かわいい見た目で動物園
などでも人気者だけど
有害で危険な存在！



【ハクビシン】

【生態】

ハクビシンは、ジャコウネコ科ハクビシン属に分類される食肉類の一種。東南アジア原産。本種のみでハクビシン属を構成する。
その名の通り、額から鼻にかけて白線が見られることが特徴。
日本に生息する唯一のジャコウネコ科の哺乳類である。

ギャップ！

アライグマのような見た目で
かわいらしいが、
噛みつく可能性も！



鳥獣保護管理法で保護されている野生動物であり、害獣として知られている。農作物への食害、家屋への侵入による被害（糞尿による悪臭、ダニの発生、天井の損傷）、騒音などが挙げられる。ハクビシンは、アライグマに比べて気性が荒いというわけではないが、野生のハクビシンはテリトリー意識が強い。ペットなど他の生き物にテリトリーを犯されると襲いかかり攻撃がある。

https://www.yamanashibank.co.jp/fuji_note/fuji/hakubishin.html

未来エリア

環境問題が深刻化する中、生物の生息環境にも影響を及ぼしている。
未来ではどのような生物が生き残り、環境に適応していくのか。.

ギャップ！

体が大きいけど
きれいな鳴き声



【ゾウム】

脊索動物綱長嘴象目羽鼻象科

東南アジアの熱帯雨林に生息
鳴き声が天使(地方によって話に訛りがある)

ギャップ！

見た目は怖いけど、、、
フローラルな香り



【ギブリオ】

昆虫綱ゴキブリ目ゴキブリ科

世界中に生息。どんな環境にも適応することが可能
餌がなくても生き延びれる代謝停止モードを搭載

ギャップ！

ゆったりして
いるけど
活発



【クローンパンダ】

哺乳綱食肉目クマ科

中国に生息

ゆったりしているように見えて
活発で泳ぐのも得意

ギャップ！

水の中で泳ぐけど
陸上では歩く



【ロボットバンドウイルカ】

哺乳綱クジラ目マイルカ科

世界中の海に生息

陸上で二足歩行できる

文化と動物のエリア

「人間の生活に密接に関わり、進行や文化を形成していた存在」から
「日常生活から距離を置かれた特別な存在」へと変化しつつある。
・文化：民話や昔話、縁起物（時に神格化）

【ウマ（和種）】

哺乳綱奇蹄目ウマ科ウマ属

生息地：北海道から沖縄まで、各地に在来種和種8種が分布
北海道和種～与那国馬

各種数十頭～数百頭のみで絶滅の危機に瀕する

ギャップ！

「身近な生き物」から

「保護」すべき対象へ



ギャップ！

・落語や地方の民話などではまるで人間のような振る舞いをする愛されキャラ

ギャップ：身近な存在であったが、近年は限られた機会でのみ触れ合える

「生活の中の当たり前の存在」から「消えゆく遺産、保護すべき対象」へと変化

【タヌキ】

哺乳類食肉目イヌ科タヌキ属

生息地：日本、朝鮮半島、中国、ロシア東部など東アジアを中心に世界的に広く分布している。

説明：タヌキは、落語や昔話、焼き物やキャラクターに姿を変える愛嬌者であり、昔から人々と深い関わりを持って暮らしに溶け込んできた。ただその一方で雑食で荒々しい野生の顔も持つ。かわいらしさと害獣性、そのギャップこそがタヌキを特別な存在にしているのだ。



ギャップ！

氣味悪がられるけれど
幸運を呼ぶ生き物★

【ヘビ】

爬虫綱有鱗目ヘビ亜目

ヘビ科、コブラ科、ウミヘビ科など

生息地：南極大陸を除く世界中の森林、草原、砂漠、川、海

神話・信仰：古事記、白蛇信仰、大蛇の神樂

芸能・美術：歌舞伎、日本画、落語などに登場

生活文化：白蛇の抜け殻（金運のお守り）、干支（巳年）

手足がなく独特の姿から「怖い・不気味」と思われるがちな一方、古くから芸能・美術・娯楽の中で「神聖さ」「縁起」の象徴として深く関わってきた。

